



2016年10月17日/ミャンマー国ヤンゴン管区/撮影：山岡智互

ミャンマーの子ども（15歳未満人口）の人口割合は、約25%、4人に1人とほぼ世界の平均値です。  
日本の15歳未満人口は世界で一番少ない13%なので、ミャンマーでは日本の約2倍のたくさんの子ども達が暮らしていることとなります。





2016年10月17日/ミャンマー国ヤンゴン管区/撮影：山岡智互

ミャンマーでも、多くの子どもは小学校に入学します（純就学率 86.4%, 2015 年）。しかし、5 人に 1 人は途中で学校をやめてしまい、5 年生を卒業できません。学校をやめた後は、働く子ども達が多いです。皆さんは学校をやめて働くことになったら、どう思いますか？



2015年2月1日/ミャンマー国ヤンゴン管区/撮影：山岡智互

公立の学校以外に、家族がなくなったり、家が貧しくて学校に通えない子どもたちのために、ミャンマーでは有志の寄付による僧院教育が盛んです。僧院が運営する学校は全国で約1,500校あり、約30万人の子どもたち（100人に3人程度）が通っています。皆さんはお寺で勉強してみたいですか？





2016年6月14日/ミャンマー国ヤンゴン管区/撮影：山岡智互  
公立の小学校は全国で約35,000校あります。平均すると、ひとつの学校に145人の子どもたちが通っています。  
先生の数には学校に平均で4~5人です。皆さんの学校と比べてどう違いますか？





2015年6月16日/ミャンマー国ヤンゴン管区/撮影：山岡智互

授業の前には手を合わせて、挨拶します。勉強の方法は、教科書に書いてあることを、大きな声で読んで、書いてあることを全部暗記します。  
皆さんの勉強の仕方と、どう違うのでしょうか？ちなみに、頬っぺたの白いのはタナカという自然化粧品で、みんなつけています。





2016年6月14日/ミャンマー国ヤンゴン管区/撮影：山岡智互

JICAは初等教育カリキュラム改訂プロジェクトで、ミャンマーでも日本と同じような教科書を使って、子どもたちが興味を持って勉強できるように支援しています。ミャンマーの子どもたちも、皆さんと同じように学べる日がもうすぐ来るかもしれませんね。